

畜産茨城

第462号

平成28年9月20日



目次

平成29年度畜産行政施策に関する要請 … 1	鶏卵価格差補てん状況 … 8
小美玉ふるさと食品公社において 福来みかん新ヨーグルトを販売中! … 2	第32回茨城県ホルスタイン共進会の開催について … 9
豚流行性下痢 (PED) について … 3	平成28年7月市況 … 10
地方競馬 場外発売日程 … 3	肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況 … 10
昆虫の生態から抗生物質を造るイノベーション … 4	平成28年8月市況 … 11
常陸牛をもっと前へ!! … 5	新マルキン発動状況 … 11
待望の種雄牛 ～茂光洋～ … 6	「茨城県畜産センター公開デー」 を開催します! … 12
平成29年度茨城県立農業大学校入学生募集 … 8	

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／加倉井 豊邦

平成29年度畜産行政施策に関する要請



県内畜産関係22団体(代表 加倉井豊邦県畜産協会長)は、7月26日(火)、茨城県庁において、橋本昌県知事及び小川一成県議会議長に対し、県の予算編成に合わせ「平成29年度の畜産行政施策に関する要請」を行いました。

要請には畜産関係団体長を中心に24名が出席し、加倉井会長から要請書を手渡すとともに、予算要請の実現に向けて、橋本県知事並びに小川県議会議長と活発な意見交換が行われました。

主な要請内容は、**1 本県畜産の競争力強化に向け**— (1) 畜産生産基盤と畜産経営安定対策の

充実強化として、県畜産センターを核とした受精卵供給体制の整備、キャトルブリーディングステーション等の整備などによる和牛生産の拡大、系統豚デュロックの安定供給体制の整備、再生産可能な畜産経営安定対策としての畜産クラスター事業の予算確保など

(2) 県産畜産物ブランド力強化と販売促進として、系統豚デュロックを活用した新ブランド豚肉の確立やさらなる常陸牛の輸出拡大、輸出も視野に入れたH A C C P に対応した食肉処理場の整備など **2 家畜衛生対策の充実と安全な畜**

2 p に続く

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

産物の生産に向け一水際防疫の徹底、自衛防疫体制の強化及び牛白血病対策への支援、また安全・安心な茨城県産畜産物の生産確保のための農場H A C C P推進への支援など **3 畜産環**

境対策の充実強化に向け一家畜排せつ物のバイオマス燃料化など新たな処理利用方法の促進などの3項目について行いました。

小美玉ふるさと食品公社において福来みかん新ヨーグルトを販売中!

茨城県県央農林事務所

小美玉ふるさと食品公社(空のえき そ・ら・ら(小美玉市山野)内)は、生乳生産量県内第一位を誇る小美玉市の生乳を100%使用し、イチゴやブルーベリーなど小美玉市で採れる果物を使用した地域ならではのこだわりの商品を製造する乳業工場です。

同公社では、新商品として小美玉市の生乳100%と石岡市八郷産の福来みかんを使った「コンフィチュール&ヨーグルト 福来みかん」を販売しており、11月上旬には「ヨーグルメのむヨーグルト 福来みかん」(11月上旬 発売予定)を発売予定です。



福来みかん

福来みかんは、筑波山周辺を中心に栽培されており、直径2~3センチと小ぶり、普通のみかんより少し酸味が強く、皮の香りが高いのが特徴です。今回使用しているのは、石岡市のやさと観光果樹園組合もので、同公社職員自らが収穫作業を行うなど、地域との深いかかわりにより商品開発が実現しました。

「コンフィチュール&ヨーグルト 福来みかん」は、福来みかんの皮を独自の製法でコンフィチュール(ジャム)にし、小美玉市の生乳100%の無糖ヨーグルトと合せたもので、ほどよい酸味と甘味、さっぱりとした後味が特徴。暑い季節にぴったりの商品となっています。価格は230g入り320円(税抜)で、空のえき



そ・ら・らの直売所をはじめ、同公社美野里直売所、茨城空港スカイアリーナ、花木センター、JA新ひたち野産地直売所みのり、大地のめぐみで販売中です。



今年の11月には、福来みかんのさっぱり感にコクも備えたりっちな味わいを特徴とする飲むタイプ「ヨーグルメのむヨーグルト 福来みかん」が発売予定となっております。価格は180ml入りで200円(税抜)の予定です。

また、茨城県では、国及び県の交付金等を活用し、今回の商品のように、県内産の生乳100%を使用していること、県内の乳業メーカーが加工していることなど特徴のある商品の開発を支援するとともにを県内の牛乳ブランド「茨ちち」として認定し、県産牛乳のPRと酪農の振興を図ることを目的とした事業を実施しています。

今後、守谷市にあるミルク工房もりやの新商品「ヤーコン入りのむヨーグルト」が10月発売予定となっているのははじめ、水戸駅ミルクスタンドでは9月から県産牛乳と岩間の梨を使った「なしシェイク」の発売、常陸農協での新たな商品開発が進むなど取組を拡大していく予定となっています。

茨城県のこだわりの牛乳・乳製品をぜひご賞味ください。



豚流行性下痢 (PED) について

茨城県西家畜保健衛生所

豚流行性下痢 (以下PED) は、平成25年10月に日本で8年ぶりに発生が確認され、平成25年10月から平成26年8月までに38道県817農場、平成26年9月から平成27年8月までに28都道府県233農場において発生が確認され、全国的な大発生となり大きな被害をもたらしました。

昨年9月以降も、大発生には至らなかったものの、本県も含め16道県107農場 (8月15日現在) で発生が確認され、そのおよそ6割の40農場で発生が続いている状況であり、近県では8月にも発生が確認されています。

茨城県では9農場でPEDの発生が確認されましたが、7月に最後の1農場が非発生農場に復帰したことから、現在 (8月15日) 発生が継続している農場はありません。

今後、PEDの流行時期を迎えるにあたり、

PEDから農場を守るため、再度、以下について徹底をお願いします。

●車両の消毒

農場に出入りする車両は荷台、運転席マットなど車両全体を洗浄・消毒しましょう。

●人の管理

可能であれば分娩舎と他の豚舎の衛生管理を分け、専用の作業服と長靴を着用しましょう。

●ワクチン接種

ワクチンの効果は母乳を介して子豚に伝わります。用法・用量を守り、分娩前の妊娠豚に2回接種することで効果が得られます。

●豚舎の清掃・消毒

豚の移動で空になった豚房は、清掃・消毒を徹底しましょう。

豚流行性下痢 (PED) 発生都道府県における沈静化の状況 (平成27年9月以降の発生について)

平成28年8月15日
農林水産省消費・安全局
動物衛生課

発生都道府県	初発事例確認日	発生件数	非発生農場数	発生農場数	非発生農場割合
北海道	平成28年6月9日	3	0	3	0%
青森県	平成28年1月27日	1	1	0	100%
岩手県	平成27年12月30日	1	1	0	100%
茨城県	平成27年10月1日	9	9	0	100%
栃木県	平成27年11月14日	3	2	1	67%
群馬県	平成27年11月2日	11	10	1	91%
埼玉県	平成28年1月16日	5	3	2	60%
千葉県	平成27年10月15日	20	7	13	35%
新潟県	平成27年11月16日	1	1	0	100%
愛知県	平成27年9月14日	19	4	15	21%
三重県	平成27年10月5日	1	1	0	100%
長崎県	平成27年12月22日	1	1	0	100%
熊本県	平成27年11月4日	6	6	0	100%
宮崎県	平成27年9月26日	7	5	2	71%
鹿児島県	平成27年10月21日	17	14	3	82%
沖縄県	平成28年6月8日	2	2	0	100%
合計	16道県	107	67	40	63%

平成28年8月15日現在
・「非発生農場」とは、原則としてPED防疫マニュアル (平成26年10月24日付け26消安第3377号消費・安全局長通知) の4(5)の規定に基づき、農場内全体で症状がみられなくなったことを家畜防疫員が臨床検査により判断した時点から、
①症状が新たに確認されないまま8週間が経過した農場
②症状が新たに確認されないまま4週間が経過し、かつ、PCR検査で陰性を確認した農場をいう。

地方競馬 場外発売日程

「オフトひたちなか」TEL: 029-265-5800

※発売日程は、変更になることがあります。

2016年10月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
オフトひたちなか					川崎							大井									浦和									大井		川崎

○鎌倉記念

○東京記念

○埼玉新聞栄冠賞

○マイルグランプリ

2016年11月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
オフトひたちなか		川崎							船橋						大井									浦和						大井	

○ロジータ記念

○平和賞

○ハイセイコー記念

○浦和記念

○勝島王冠

○JCBクラシック
○JCBスプリント
○JCBレディスクラシック
○ローレル賞



昆虫の生態から抗生物質を造るイノベーション



茨城県獣医師会会員 諏訪 綱雄

■ 抗生物質の発見

英国のアレキサンダー フレーミングが、1928年（昭和3年）にアオカビから見つけたペニシリウムが世界で初めての抗生物質になった。それから88年経過した現在、天然由来の抗生物質は、5000～6000種類も発見されているとされている。そのうち実用化されているのは、約70種類ぐらいで、更にその他にも半合成抗生物質は80種にも及んでいるといわれている。現在では、各種抗生物質の探査や研究によって抗細菌剤以外に、抗ウイルス剤、抗ガン剤、抗真菌剤、抗寄生虫薬迄造られるようになってきている。

■ 大村智先生のノーベル賞受賞

昨年、北里大の大村智教授が「寄生虫によって起こる感染症の治療法の発見」でノーベル医学賞を受賞したが、それは寄生虫駆除に効果が認められた抗寄生虫剤の「エバーメクチン」の発見と、その副作用の軽減に改良された新薬品「イベルメクチン」によって熱帯地方の風土病オンコセルカ症（ミクロフィラリアによる河川盲目症や象皮病）の予防と治療に努め、年間2億人余りの人々に投与し、この病気の対策に貢献したことが受賞の対象になったものである。

このエバーメクチンは、静岡県伊東市内のゴルフ場の土から発見された放線菌類で、寄生虫の神経系統に作用し、殺虫する作用があったため、専ら家畜やペット動物の寄生虫のヒゼンダニ（疥癬）や各種フィラリア線虫類の治療に使用され、効果を上げていた抗寄生虫剤であった。

■ カブトムシから抗生物質の抽出

抗生剤の作出は、土中からの放線菌類からだけとは限らない。最近の研究では、昆虫の世界でも成長の過程でその体内でいろいろな細菌等に抵抗する物質を作り出していることが分かって来た。その一例として、ハエの幼虫はあらゆる雑菌の生息する糞尿の中でも平然と生活している。その幼虫に人工的に傷を付けると、幼虫の生活環境下の各種の細菌類等によって死亡するであろうと予想されていたが、その予想に反して幼虫は、体内から細菌坑物質を分泌して細菌の侵入を防御したという実験結果が見られた。この物質こそが昆虫の生産する「5-S-GAD」抗生物質であつた。この「5-S-GAD」は人の乳癌や皮膚癌に抗癌性を示したのである。同じようにカブトムシの幼虫についても、同じような実験の結果、殺菌作用を持つ生体防御タンパク質を分泌することが明らかになってきている。更に現在は、モンシロチョウやヤマムシ蛾から抗生物質を作り出す研究が進められている。とくに昆虫から作出された抗生物質は、抗癌製剤としての開発研究が進歩しているようである。

この先、この地球上の生物種類の四分の三も占めている昆虫が、人間の食糧として利用され、畜産業ならぬ昆虫産業として新しい産業になるかもしれない。更に、昆虫類はこれからの医学的物資材等々、人間社会に大きく関与するなどして、人間を救う時代が来るような気がする。

常陸牛をもっと前へ!!

茨城県常陸牛振興協会 事務局長 谷口 勇



この度8月9日にひたちなか市文化会館で開催された、茨城農業改革推進大会で当協会が最優秀賞にノミネートされ、葉梨実行委員長および橋本 昌県知事から委員長賞と知事賞を受賞いたしました。

授賞理由としてブランド戦略が着実な成果を取めたことが高く評価されました。県行政、生産者、生産団体、販売指定店、販売推奨店、県中央食肉公社および東京食肉市場の仲卸の皆さんが常陸牛のブランドアップのため、それぞれ努力していただいたことが、実績の積み上げにつながったものと思います。改めて日々の活動が大事であることを実感いたしました。皆様に感謝!

今海外に向けて常陸牛の輸出にも力を入れており、現在、タイ・ベトナム・米国となっています。10月には㈱茨城県中央食肉公社から、初めてベトナムハノイに向けて常陸牛3頭分のフルセットにして出荷いたします。その総重量は1,100Kgを超えるかと思えます。出荷の際にはセレモニーを行い盛大に送り出したいと思えます。

今回は、ベトナムハノイにあるD&A社との初取引であります。高級レストランを経営し、卸販売にも力を入れており、常陸牛を継続して購入したいとの熱意をもっています。我々としても、県、畜産協会、ジェトロと連携し日本の

他県産ブランド牛に負けないように、支援体制を強化してまいりたい。

日立市に本社がある小松水産(株)もタイで常陸牛販売に精力的に取り組んでおり、ベトナムにも足がかりをつける活動を始めました。若い力で頑張ってもらいたいと思います。

常陸牛の特徴づくりについても鋭意進めています。他産地ブランド牛においては、神戸ビーフ、但馬牛のG1の取得や愛媛県のオリーブ牛は仕上げにオリーブの搾り粕を給与して差別化を図っています。人気も急上昇中です。

茨城県は水戸納豆が有名であり、今、健康志向から納豆が注目されており、常陸牛に納豆菌を給与し、牛の健康増進と牛肉のイメージアップと差別化を図り需要拡大をめざしたいと考えています。県内外の指定店や推奨店からの要望があり、これから指定生産者全戸に納豆菌のサンプルを配布し、継続的な取り組みをしていきたいと思えます。生産に係る関係者の支援と協力をお願いしたいと思えます。さらには、年内に「常陸牛の日」を制定しアピールしていきたいと考えています。肥育素牛の高騰や高齢化による廃業等厳しい現実がありますが、目標に向かって努力を続ければ、いつか達成や実現が可能と思ひ日々取り組んでいます。



待望の種雄牛 ～ 茂光洋 ～

茨城県畜産センター 肉用牛研究所改良研究室

○はじめに

近年、全国的に黒毛和種の近交度が上昇し、血統の似通いが顕著になっております。多様な遺伝資源を確保するためにも、地域単位で特徴ある改良を進めていく必要があります。さらに、茨城県のブランド牛肉「常陸牛」の生産基盤強化を図るため、当研究所では茨城県産の優れた種雄牛を造成し、県内肉用牛の改良を推進しています。

○種雄牛の造成とは

はじめに、計画交配として県内の優良雌牛群と基幹種雄牛とを交配させます。次に、生まれた雄子牛について発育等の能力を評価（直接検定）します。直接検定に合格した雄牛は候補種雄牛となり、精液を採取・凍結し、県内の協力生産者に配布します。そして、生まれた産子の肥育成績を集計し、候補種雄牛の能力を評価（現場後代検定）し、種雄牛を選抜していきます(図1)。

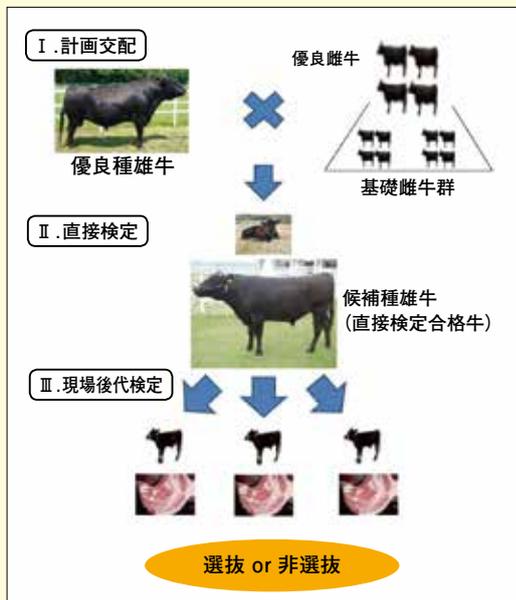


図1 種雄牛の造成の流れ

現在、当研究所では「北国関7」、「福茂光」、「北平5」の3頭の選抜種雄牛を繋養しています。とくに、「北国関7」は脂肪交雑能力に優れていることから、県内生産和牛子牛の4割近くを占め（平成27年度県内子牛市場調べ）、平成27年

度は凍結精液販売数が1万本を超えるなど、ご好評いただいております。しかし、「北国関7」は現在14歳と高齢であることから、新たな種雄牛の誕生が待たれていました。そして、遂に待望の種雄牛「茂光洋」が誕生しました(写真1)。



写真1 茂光洋

○茂光洋の成績

「茂光洋」は平成22年3月2日に大子町の益子光洋氏のもとに生まれました。父が「茂洋」、母の父が「北国7の8」、母方祖父「紋次郎」で、平成22年度に当研究所に導入し、直接検定を合格、平成28年8月には現場後代検定を終了しました(表)。枝肉重量、ロース芯面積ともに現在県内で活躍している「北国関7」の成績を大きく上回るとともに、肉質の基準である脂肪交雑（BMS）においても「北国関7」を大きく上回る9.3（本県歴代1位）、5等級率94%（4等級以上率100%）と突出した成績を収めております（「北国関7」：BMS7.3）。表に示した成績のとおり、特定の系統に偏ることなく優良な枝肉成績を収めておりますので、利用性の高い種雄牛と考えられます。



写真2 茂光洋の枝肉写真

○最後に

今後、外国産や国産との牛肉産地間競争が激しくなると予想されますが、対策の一つとして

当研究所の優良種雄牛を活用してみてもいいでしょう。

○連絡先

〒319-2224

茨城県常陸大宮市東野3700

茨城県畜産センター肉用牛研究所 改良研究室

TEL 0295-52-3167 FAX 0295-53-4490

○販売

〒310-0022

茨城県水戸市梅香1丁目2番54号

茨城県酪農業協同組合連合会

TEL 029-224-6711 FAX 029-224-6710

平成29年度

茨城県立農業大学校入学生募集

農業の実践力を養います。大学への編入資格も得られます。

募集人員等

区分	学科名	募集人員	受験資格	修業年限	専攻コース
学科	農学科	40名	高校等を卒業した者又は平成29年3月に卒業若しくは修了見込みの者	2年	普通作・露地野菜・果樹
	畜産学科	10		2年	畜産
	園芸学科	30		2年	施設野菜・花き
研究科		10	農業大学校卒又は短大等卒以上若しくは卒業見込みの者	2年	作物・園芸・畜産

願書受付・入学試験

試験区分	願書受付期間	試験日	選抜方法
推薦入試 (各学科)	平成28年10月3日(月) ～10月21日(金)	平成28年11月2日(水)	小論文 口述試験(個別面接) 調査書等
一般入試 (各学科)	前期 平成28年11月14日(月) ～12月7日(水)	平成28年12月15日(木)	筆記試験 口述試験(個別面接) 調査書等
	後期 平成29年2月6日(月) ～2月24日(金)	平成29年3月3日(金)	
研究科 一般入試	平成28年11月14日(月) ～12月7日(水)	平成28年12月15日(木)	筆記試験 口述試験(個別面接) 調査書等

授業料等

- ・入学試験手数料(2,200円)、入学料(5,650円)、授業料(年118,800円)、自治会費他
- ・学科1年生は全寮制(1人食費月額約30,000円)、学科2年生及び研究科は希望入寮制

問い合わせ先

〒311-3116 東茨城郡茨城町長岡4070-186

茨城県立農業大学校 入試事務局 TEL029-292-0010

農大ホームページ

農業総合センター農業大学校/茨城県

検索

鶏卵価格差補てん発動状況

7月 6.093円

(鶏卵補てん基準価格189円/kg当たり・標準取引価格182.23円/kg当たり)

8月 7.092円

(鶏卵補てん基準価格189円/kg当たり・標準取引価格181.12円/kg当たり)

第32回 茨城県ホルスタイン共進会の開催について

茨城県酪農業協同組合連合会

1. 会 期：平成28年10月28日（金曜日）
2. 会 場：小美玉市竹原350-7「茨城県中央家畜市場」
3. 主 催：茨城県酪農業協同組合連合会
4. 出品予定頭数：70頭
5. 出 品 資 格

出品牛は、平成28年2月21日以前に生まれたホルスタイン種の登録雌牛で、両耳に耳標装着しているものとする。尚、第5部の出品牛は、妊娠確実であるものとする。

部	区 分	生年月日範囲	出 品 資 格	
1	未 経 産 牛	9ヵ月以上～12ヵ月未満	H27.11.22～H28.2.21	ホルスタイン種の登録雌牛
2		12ヵ月以上～15ヵ月未満	H27.8.22～H27.11.21	〃
3		15ヵ月以上～18ヵ月未満	H27.5.22～H27.8.21	〃
4		18ヵ月以上～21ヵ月未満	H27.2.22～H27.5.21	〃
5		21ヵ月以上～24ヵ月未満	H26.11.22～H27.2.21	〃（妊娠確実であるもの）
6	経 産 牛	～36ヵ月未満	H25.11.22以降	〃
7		36ヵ月以上～48ヵ月未満	H24.11.22～H25.11.21	〃
8		48ヵ月以上～60ヵ月未満	H23.11.22～H24.11.21	〃
9		60ヵ月以上	H23.11.21以前	〃

6. 審 査 員：竹田 秀臣氏 オールジャパンプリーダーズサービス（株）
7. 関 東 共 進 会：出品資格のある出品牛の中から、16頭を選定。尚、3才級までは、自県産が条件であるので、北海道等からの導入牛については、県共進会に出品は出来るが、関東共進会への出品資格は有しない。
8. 衛 生 対 策：関東共進会への出品牛決定後、衛生対策要領に定められている6種混合ワクチンの接種を行い、結核病・ブルセラ病・ヨーネ病の検査を実施するものとする。
9. 優牝セール開催：新規事業である「茨城県優良雌牛地域内流通対策確立事業」の事業成果を高めるため、事業対象となる初妊牛等10頭程度の「優牝セール」を同時開催致します。

（前回）第31回茨城県ホルスタイン共進会（平成26年10月24日開催） 最高位賞



名号 ニューワールドパークエーカーズエルフィンダン
No.1263289133 平成22年9月13日生

ひので酪農業協同組合
茨城町 荒井 裕一郎 氏出品

平成28年7月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
6	一般子豚	31	17,388	16,200	16,757	50
	ベビー豚	416	16,524	5,832	14,596	35
20	一般子豚	10	18,360	18,360	18,360	50
	ベビー豚	293	20,088	11,016	17,315	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	45	853,200	596,160	689,808	278	2,480
		♂	0					
		去計	58	1,037,880	546,480	882,267	308	2,862
	経産	2	754,920	387,720	571,320	-	-	
F1	♀	去計	16	375,840	278,640	339,863	280	1,213
		去計	15	473,040	429,840	451,008	304	1,484
		去計	31	473,040	278,640	393,643	292	1,350

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
8	入場頭数	12	0	0	4	0	15	5	1
	成立頭数	5			0		8	4	0
	最高(円)	68,040					85,320	65,880	
	最低(円)	44,280					47,520	63,720	
	平均(円)	58,320					69,120	64,800	

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	52	1,211,760	570,240	756,872	270	2,799
		♂	0					
		去計	48	1,125,360	738,720	916,065	306	2,987
		去計	100	1,211,760	570,240	833,285	287	2,895

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日										牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)								屠畜頭数									
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛										
豚	12,325.0	78.3	909	569	543	509	430	528	22,231	897.5										
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)												
和牛	A	270	298	486.8	2,736	2,487	2,195	1,619	-	2,522										
	B	24			2,597	2,241	1,753	1,415	-											
	C	4			-	-	-	-	848											
乳牛	A	-	167	294.2	-	-	-	-	-	640										
	B	4			-	-	-	720	829											
	C	163			-	-	-	693	611											
交雑牛	A	13	131	499.6	-	1,883	1,769	871	-	1,641										
	B	104			1,998	1,867	1,671	1,467	-											
	C	14			-	1,821	1,473	1,307	-											

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	5, 9, 15, 19, 25, 29			
				頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	去計	3	315,360	10,800	122,400
			♂	98	195,480	9,720	143,794
			去計	1	117,720	117,720	117,720
			去計	102	315,360	9,720	142,909
子牛	♀	去計	3	386,640	303,480	345,240	
			0				
			1	162,000	162,000	162,000	
			4	386,640	162,000	299,430	
F1	スモール	♀	去計	61	326,160	183,600	276,569
			♂	100	397,440	120,960	335,653
			去計	0			
			去計	161	397,440	120,960	313,267
子牛	♀	去計	48	352,080	261,360	302,918	
			0				
			12	407,160	322,920	388,350	
			60	407,160	261,360	320,004	
黒毛和種	スモール	♀	去計	1	488,160	488,160	488,160
			♂	5	666,360	237,600	453,816
			去計	0			
			去計	6	666,360	237,600	459,540
	子牛	♀	去計	1	572,400	572,400	572,400
				1	596,160	596,160	596,160
				0			
				2	596,160	572,400	584,280
3歳以上	♀	去計	1	217,080	217,080	217,080	
			0				
			1	217,080	217,080	217,080	

肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況

平成28年度第1四半期(平成28年4～6月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円/頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	337,000	307,000	220,000	133,000	205,000
合理化目標価格	280,000	257,000	149,000	90,000	147,000
平均売買価格	797,900	695,900	508,100	229,300	387,800
補給金単価	-	-	-	-	-

○肉用牛繁殖経営支援事業

(単位：円/頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
保証基準価格	337,000	307,000	220,000
平均売買価格	797,900	695,900	508,100
発動基準	450,000	410,000	290,000
支援交付金単価	-	-	-

平成28年8月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
3	一般子豚	57	17,604	11,880	16,630	50
	ベビー豚	251	18,684	8,424	16,268	35
17	一般子豚	15	19,440	18,360	18,720	50
	ベビー豚	305	17,280	14,040	15,495	35
31	一般子豚	21	17,388	17,388	17,388	50
	ベビー豚	286	17,280	7,668	15,571	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
11	和牛	♀	42	976,320	442,800	666,129	274	2,433
		♂	0					
		去計	59	1,037,880	603,720	847,324	310	2,733
	経産	5	739,800	177,120	461,376	-	-	
F1	♀	去計	16	373,680	316,440	353,970	298	1,190
		去計	20	457,920	399,600	436,698	292	1,496
		去計	36	457,920	316,440	399,930	294	1,358

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
	入場頭数	開催なし							
	成立頭数								
	最高(円)								
	最低(円)								
	平均(円)								

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀	開催なし					

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	5, 9, 15, 19, 25, 29			
				頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	去計	4	43,200	9,720	22,680
			去計	106	157,680	2,160	118,912
			去計	0			
	子牛	♀	5	380,160	311,040	353,376	
F1	スモール	♀	去計	88	307,800	55,080	227,303
			去計	89	393,120	172,800	311,246
			去計	0			
	子牛	♀	38	375,840	295,920	345,117	
黒毛和種	スモール	♀	去計	1	507,600	507,600	507,600
			去計	0			
			去計	1	507,600	507,600	507,600
	子牛	♀	去計	15	723,600	491,400	708,120
			去計	1	554,040	554,040	554,040
			去計	15	723,600	723,600	723,600
	3歳以上	♀	去計	31	723,600	491,400	710,640
			去計	1	219,240	219,240	219,240
			0				
			1	219,240	219,240	219,240	

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉：毎週月曜日、木曜日						
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数				
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛	
豚	15,445.0	77.4	522	502	484	453	398	474	26,811	818.0	
牛			5	4	3	2	1				
和牛	A	140	466.1	2,748	2,497	2,289	1,698	-	2,400		
	B	27		2,387	2,170	2,095	1,145	880			
	C	4		-	1,853	-	977	918			
乳牛	A	-	292.2	-	-	-	-	-	646		
	B	3		-	-	-	765	-			
	C	136		-	-	-	719	606			
交雑牛	A	4	491.3	-	1,837	1,784	1,459	-	1,542		
	B	64		-	1,879	1,643	1,333	-			
	C	20		-	-	1,364	1,276	766			

新マルキン発動状況

期	支払方式	肉専用種	交雑種	乳用種
平成28年6月	確定単価	-	-	-
平成28年5月	確定単価	-	-	-
平成28年4月	確定単価	-	-	-

(注)

平成26年4月期の補填金交付から、四半期の最終月以外については、補填金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをすることになりました。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、平成26年4月から消費税抜きで算定されています。

○茨城県において補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、補填金単価を減額することがあります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。



★ 「茨城県畜産センター公開デー」を開催します! ★



日 時：平成28年10月29日(土) 10:00～15:00

場 所：茨城県畜産センター 石岡市根小屋1234

「畜産」への関心や理解を深めて頂くために、研究成果紹介、畜産ミニ講座、ふれあい牧場、各種体験、農畜産物などの試食・販売などのイベントを開催します。ぜひご来場下さい!



<主なイベント内容>



- 研究成果紹介(各研究所・研究室)
- 畜産ミニ講座(子ども向け)
 - 1 牛乳・乳製品のおはなし(仮題)
講演終了後、バター作り体験
 - 2 お肉と豚のおはなし(仮題)
講演終了後、バター作り体験
- ふれあい牧場
(子豚・ヒヨコとのふれあいなど)
- 各種体験
(乳しぼり・牛えさやり体験など)
- 国土地理院の施設公開
(パラボラアンテナ、建物内の見学など)
- 試食・販売コーナー
(農畜産物などの試食・販売など)

その他、クイズラリーなどの企画で皆さんをお待ちしております!

<協力機関、団体>(順不同)

公益社団法人茨城県畜産協会、茨城県養豚協会、茨城県養鶏協会、茨城県肉用牛生産者協会、茨城県牛乳普及協会、農事組合法人奥久慈しゃも生産組合、社会福祉法人白銀会しろがね苑、石岡鈴木牧場、石岡市観光課、茨城県フラワーパーク、茨城県動物指導センター、(株)茨城県中央食肉公社、国土地理院など



<ひよことのふれあい>

<問い合わせ先>

茨城県畜産センター企画情報室
電話0299(43)3333



県内唯一の食肉地方卸売市場
株式会社 茨城県中央食肉公社

代表取締役社長 角田 芳夫

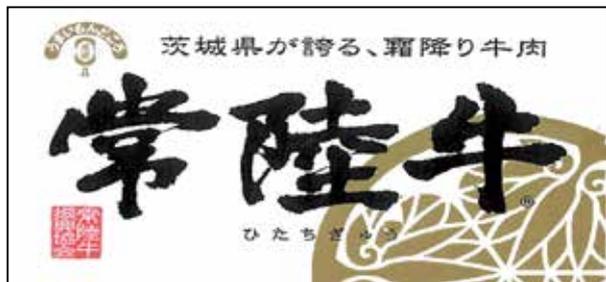
〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975

TEL/029(292)6811(代)

FAX/029(292)6895

H.P./http://ibaraki-kousha.co.jp/

市場開催日 { 豚枝肉(日曜・祭日等を除く毎日)
牛枝肉(毎週月・木曜日)



いばらきの高品質豚肉

ローズポーク

茨城県銘柄豚振興会

事務局

〒311-3155 東茨城郡茨城町下土師1950

全国農業協同組合連合会 茨城県本部内

TEL/029-292-8004

FAX/029-292-7743

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL/029(231)7501 FAX/029(222)2032

○当協会に対する意見・要望
Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp

○本紙への掲載「催事・各種情報」
Eメール chikusan@ibachiku.com

○ホームページ
http://ibaraki.lin.gr.jp